1. **吉田 昌裕 :** 遷移金属触媒を用いた二酸化炭素と水の連続的固定化反応の開発, 富士写真フィルム研究企画賞, 社団法人 有機合成化学協会, 2005年12月.
2. **吉田 昌裕 :** 遷移金属触媒を用いた高度置換不斉分子の高選択的合成法の開発と展開, 徳島大学若手研究者学長賞, 徳島大学, 2008年12月.
3. **宍戸 宏造 :** KAMETANI AWARD 2010, The Japan Institute of Heterocyclic Chemistry and Elsevier, 2010年5月.
4. **吉田 昌裕 :** プロパルギル化合物を用いた新規分子変換反応の開発と展開, 日本薬学会奨励賞, 日本薬学会, 2011年3月.
5. **吉田 昌裕 :** 空気中に存在する二酸化炭素の有機分子への高効率的固定化反応の開発, 三井化学研究企画賞, 社団法人 有機合成化学協会, 2011年12月.
6. **吉田 昌裕 :** パラジウム触媒を用いたプロパルギルエステルと求核剤の連続的環化反応の開発, 有機合成化学協会中国四国支部 支部奨励賞, 有機合成化学協会中国四国支部, 2012年11月.
7. **吉田 昌裕 :** ゼミナール「くすりをつくる-現代の錬金術有機化学への招待」, 2013年度後期 共通教育賞, 徳島大学, 2014年4月.
8. **坂本 光, 難波 康祐 :** Calyciphylline Gの全合成研究, 日本薬学会中四国支部学生奨励賞, 日本薬学会, 2014年4月.
9. **中山 淳 :** 極小蛍光分子を用いた実践的キナーゼ阻害薬の探索研究, 平成26年度 公益財団法人上原記念生命科学財団 研究奨励金, 公益財団法人 上原記念生命科学財団, 2014年12月.
10. **林 月穂, 中山 淳, 難波 康祐 :** グラム陰性菌の鉄取り込み機構解明を指向した鉄イオン応答型蛍光シデロフォアの開発, 創薬懇話会2015優秀ポスター賞, 日本薬学会, 2015年7月.
11. **中山 慎一朗, 中山 淳, 難波 康祐 :** TAK1阻害剤LL-Z1640-2の不斉全合成, 日本薬学会, 2016年3月.
12. **中山 慎一朗, 中山 淳, 難波 康祐 :** TAK1 阻害剤 LL-Z1640-2 の不斉全合成, 日本薬学会 第136年会 学生優秀発表者賞, 日本薬学会, 2016年4月.
13. **大橋 栄作, 中山 淳, 難波 康祐 :** Palau'amineの第二世代合成研究, 創薬懇話会2016優秀ポスター賞, 日本薬学会, 2016年7月.
14. **中山 慎一朗, 中山 淳, 難波 康祐 :** TAK-1阻害剤LLZ-1640-2の不斉全合成, 第32回若手化学者のための化学道場 最優秀ポスター賞, 社団法人 有機合成化学協会, 2016年8月.
15. **財間 俊宏, 中山 淳, 難波 康祐 :** Dippinine Bの全合成研究, 第33回若手化学者のための化学道場 優秀ポスター賞, 有機合成化学協会 中国四国支部, 2017年9月.
16. **中山 淳 :** 画期的新規マルチ作用骨髄腫治療薬の開発研究, 平成30年度若手研究者学長表彰, 徳島大学, 2018年10月.
17. **難波 康祐 :** 強力な生物活性の謎を解く複雑天然物の実践的合成研究, 長瀬研究振興賞, 公益財団法人 長瀬科学技術振興財団, 2019年4月.
18. **中山 淳 :** 天然物の網羅全合成を基軸とした医薬化学研究, 令和元年度 天然物化学談話会奨励賞, 天然物化学談話会, 2019年7月.
19. **中山 淳 :** 天然物の網羅的全合成を基軸とした医薬化学研究, 天然物談話会奨励賞, 天然物談話会, 2019年9月.
20. **中山 淳 :** ジヒドロイソクマリン系天然物の網羅的全合成を基軸とした天然物化学研究, 令和二年度 日本薬学会生薬天然物部会奨励賞, 日本薬学会, 2020年7月.
21. **中山 淳 :** ジヒドロイソクマリン系天然物の網羅的全合成を基軸とした天然物化学研究, 日本薬学会生薬天然物部会奨励賞, 2020年7月.
22. **難波 康祐 :** 徳島県の科学技術の発展・振興への貢献, 徳島県科学技術大賞(科学技術振興部門), 徳島県, 2021年10月.
23. **難波 康祐 :** 環境問題に貢献する天然物合成, 企業冠賞 東ソー 環境・エネルギー賞, 社団法人 有機合成化学協会, 2024年2月.
24. **佐藤 亮太 :** 「可視光スイッチング連続反応」を利用した含窒素π共役系の迅速拡張法の開発とその応用, 有機合成化学協会 東ソー研究企画賞, 公益社団法人 有機合成化学協会, 2024年12月.